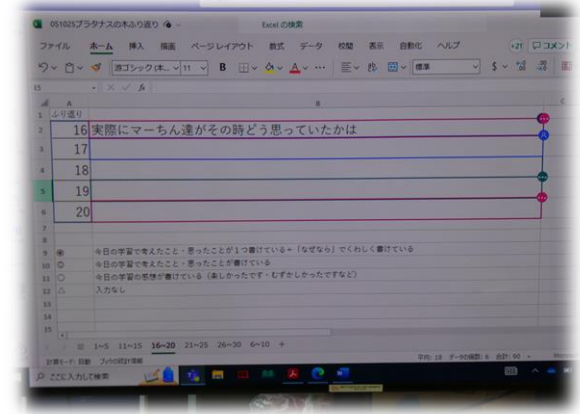
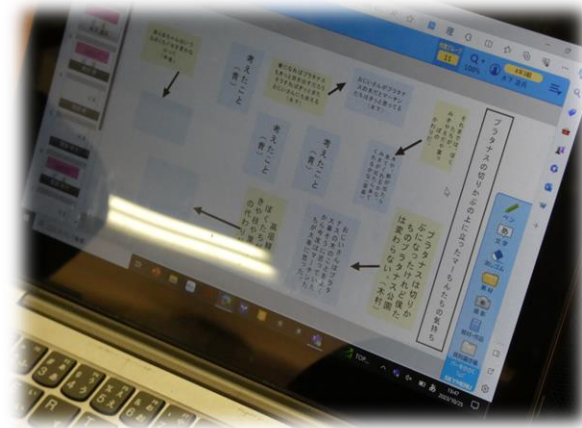
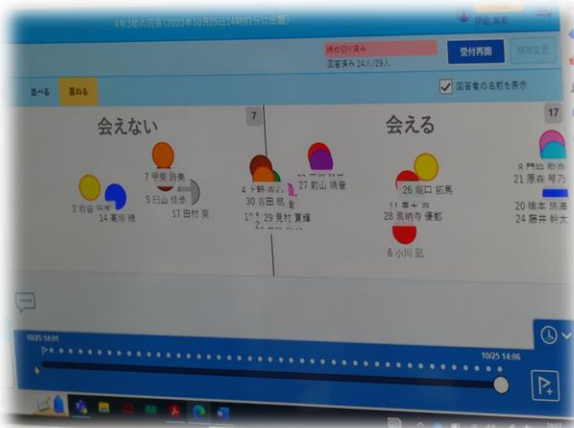


リーディングDXスクール事業【実践事例】

北九州市立西小倉小学校

【取組内容⑤】「中学校校区や学校評議委員に向けたICT活用授業見学会の実施」



児童の変容

- ・教師主導の教え込み授業と比べて、児童同士が教科書を見ながら叙述を基に話し合ったり質問し合ったりする姿が多く見られるようになった。
- ・振り返りを同時に入力でき、リアルタイムで見られるため、ノートでは思考を整理するのが難しい児童でも、他の人の振り返りを見て参考にし、自分の思考を整理して入力していた。
- ・自分の意見を主張するポインター機能を活用することで、学級全体に向けて自分の考えを発表することが苦手な児童でも意見を表出することができ、座っているだけの児童が減った。

教職員の変容

- ・9月のICT活用講習会で活用事例を紹介→実際に授業で使っている様子を参観、というステップを踏んだため、苦手意識をもつ教職員が活用してみようとチャレンジし、授業にICTを取り入れる回数が増えた。